

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和3年度 第2回社会教育委員会		
開催日時	令和3年12月1日(水) 午後1時30分から午後2時35分		
開催場所	みよし市役所6階 601・602会議室		
出席者	委員長 秋松成喜 副委員長 鈴木輝二 委員 野口尚子、大地由美子、中山弘之、岡本清則、富永涼輔、水野友義、竹山伸幸、児玉文子 深津教育部長、岡田教育部次長兼教育行政課長、村山資料館長、甲村スポーツ課長、橋本生涯学習推進課長、溝口主査、九澤主事 (計17名) 傍聴者：0人 欠席者：1人		
次回開催予定日	令和4年2月下旬		
問合せ先	みよし市教育委員会教育行政課 担当者名 溝口 電話番号 0561-32-8028 ファックス番号 0561-34-4379 メールアドレス kyouiku@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録全文</li> <li>・議事録要約</li> </ul>	要約した理由	
審議経過	<内容> 1 あいさつ 2 協議事項 (1) 令和3年度前期社会教育・生涯学習活動報告について ア 生涯学習講座等について イ 家庭教育推進事業について (2) 令和3年度後期社会教育・生涯学習活動計画について ア 生涯学習講座等について イ 家庭教育推進事業について ウ 文化振興事業について (3) 生涯学習推進基本計画策定の中間報告について 3 報告事項 (1) 東海北陸社会教育研究大会参加報告について		

<p>《会議録》</p> <p>開会</p> <p>溝口主査</p>	<p>本日はご多用の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは定刻になりましたので、本年度、第2回目の社会教育委員会を開催します。</p> <p>始めに礼の交換をします。皆様、ご起立をお願いします。</p> <p>「一同礼」。ありがとうございました。ご着席ください。</p> <p>本日の会議には、中村委員については所用により欠席されるとの連絡をいただいております。</p> <p>ここでご報告を申し上げます。秋松委員長が、去る11月5日に文部科学大臣より社会教育功労者表彰を受けられました。また、11月3日には文化の日記念式典において、市長よりみよし市制施行10周年記念感謝状と教育功労、感謝状を受けられました。長年にわたり社会教育に対し多大なる貢献をされてきた御功績を称えお祝いを申し上げます。</p> <p>おめでとうございます。</p>
<p>1 あいさつ</p> <p>事務局</p>	<p>それでは、秋松委員長にごあいさつをお願いいたします。</p>
<p>秋松委員長</p>	<p>開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。</p> <p>今日から師走と言うことで1年の速さを実感しているところでございます。</p> <p>委員の皆さんにおかれましてはご多忙のところ本年度第2回社会教育委員会に御出席いただきありがとうございます。</p> <p>コロナで昨年も今年も関連会議が軒並み中止、紙上会議で推移してきましたが、コロナも少し沈静化ということで、幸い今年度第1回も今回も予定どおり開催の運びとなりました。</p> <p>ただ、事業面では、この後報告をいただくことになっておりますが、生涯学習始め社会教育関連の諸行事、規模の縮小や延期等の対応を講じながら運営を戴いたところでございます。</p> <p>10月にはサンアートの改修工事も終了しました。サンライブと共にますますの有効活用を期待してまいりたいと思います。</p> <p>コロナの第6波も懸念されておりますが、このまま終息され再び多彩な活動が再開されることを祈念してまいりたいと思います。</p> <p>終わりになり恐縮ですが、冒頭事務局から報告いただきましたが、不肖私この度令和3年度社会教育功労者として文部科学大臣から表彰状を授与されました。全国で87人、愛知県で3人でした。いたずらに年数を過ごただけで恐縮しております。これも皆さん始め関係の方々の御支援、御協力のおかげであると厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。</p> <p>以上簡単でございますが、開会にあたってあいさつとさせていただきます。</p> <p>なお、本会議は傍聴が認められておりますが、申出はございませんでしたので</p>

溝口主査	<p>合わせて御報告させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、深津教育部長がごあいさつを申し上げます。</p>
深津教育部長	<p>皆さんこんにちは。委員の皆さまにおかれましては、地域の社会教育に御尽力いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>先ほど御報告がありましたとおり秋松委員長が社会教育功労者表彰を受けられ誠にめでたうございます。お祝いを申し上げます。</p> <p>委員長のお話にもあったように新型コロナウイルス感染拡大ということで新たな変異株でありますオミクロン株が危惧されており早期終息を願うばかりです。</p> <p>また、昨年から工事をしておりました文化センターサンアートの大規模改修事業も終了しまして11月からリニューアルオープンをしております。委員の皆さまも新しいサンアートを見ていただきまして、御意見等ございましたらこちらにお寄せいただきたいと思います。</p> <p>本日の会議の協議事項は3件、報告事項は1件あります。担当から説明させますので忌憚のない御意見をいただきたいと思います。</p>
溝口主査	<p>それでは、協議事項に入ります。協議事項の取り回しを、秋松委員長にお願いいたします。</p>
秋松委員長	<p>それでは、会議の進行につきまして、皆様のご協力をお願いいたします。協議事項に入ります。</p> <p>「(1) 令和3年度前期社会教育・生涯学習活動報告について」議題といたします。事務局より説明をお願いします。</p>
橋本生涯学習推進課長	<p>資料No.1をお願いします。</p> <p>生涯学習推進課が行う生涯学習活動事業は、主にサンライブ内、中央図書館で開催をしています読書啓発事業と、生涯学習センターで実施していますみよし悠学カレッジ事業となります。</p> <p>それでは、前期に実施をした事業につきまして、できるだけ簡潔に説明をさせていただきます。</p> <p>始めに、2ページ目の読書啓発事業について説明いたします。</p> <p>読書啓発事業は、読書習慣を一層広めることで、より豊かな感性等を養い、今後の生涯学習へと導くとともに、生きがいのあるまちづくりを目指すための事業です。前期は、番号1から6にありますように、読み聞かせボランティアを育成する講座や、家庭での読書推進を図る目的で絵本読書会や実際にオリジナルの絵本を作る絵本ワークショップを実施しました。特に、5番の「ビブリオバトルをやってみよう!」は、本市では昨年度、初めて開催したイベントであり、今回が2回目の開催となりました。バトルとなった人が、自分のお気に入りの本を紹介</p>

<p>村山資料館長</p>	<p>し、観覧者がポイントを付け、多くの共感を得た人を優秀者として表彰するものです。パトラーとなった皆さんは、人前で自分の考えを発表するため、緊張した様子でしたが、一生懸命さが伝わってきて、会場中が温かい雰囲気になりました。なお、4番の「第2回あなたのためのおはなし会」は、新型コロナ感染拡大防止のため中止いたしました。</p> <p>続いて、3ページから10ページまでは悠学カレッジ講座事業となります。生涯学習講座は、生涯学習推進基本計画の理念に基づき、自主的に学ぶための機会を提供することにより、人と人との交流を深め、今後のまちづくりに繋げていくためのもので、1年を春夏、秋冬、新春の3期に分け、それぞれの期毎に、みよしの自然・歴史・文化などについて学ぶ生活創造講座、語学や異文化への理解を深める国際理解講座、パソコンなどの情報機器の操作を学ぶ情報・通信講座を実施しております。</p> <p>前期分の報告としましては、すでに終了している春夏講座を対象としております。3ページ1番の「家族が健康になるごはん～心と身体のメンテナンス～」から、10ページ、38番の「ゆっくり学ぶスマホ講座」までを、前期の悠学カレッジ講座として、開催いたしました。</p> <p>なお、お詫びとなりますが、10ページの39番から12ページの45番については、秋冬講座の情報が掲載されておりますので、斜線を引くなどして取り消していただきたいと思います。申し訳ありませんでした。</p> <p>実施状況ですが、3ページの1番から6ページの15番までの15講座が生活創造講座で、総計で31回の講座を開催し、154人が受講、延べ299人の方に参加していただきました。</p> <p>次に、6ページの16番から8ページの28番までの13講座が国際理解講座で、総計で96回の講座を開催し、135人が受講、延べ857人の方に参加していただきました。</p> <p>次に、8ページの29番から10ページの38番までの9講座が情報・通信講座で、総計で66回の講座を開催し、75人が受講、延べ493人の方に参加していただきました。なお、9ページの31番の「ゆっくり学ぶエクセル」は、申込数が少なかったため中止いたしました。</p> <p>続いて、13ページは文化事業委託事業となります。</p> <p>サンアートが改修工事中であったため、みよし市文化協会への委託事業として、市役所をスタート・ゴール地点とし、なかよし地区に点在する彫刻を家族や友だち同士で観てもらい、春の文化展「彫刻ウォークラリー」を企画したところ、コロナ禍ではありましたが、99人の方に参加いただきました。以上が、前期に実施しました生涯学習推進課の活動報告となります。</p> <p>令和3年度 前期社会教育・生涯学習活動について報告させていただきます。</p> <p>資料の14ページを御覧ください。事業名称は石川家住宅管理事業です。講座等名は「石川家住宅歴史体感講座及びイベント」についてです。</p> <p>内容は、子供から高齢者までを対象に毎週土日に講座やイベントを随時開催す</p>
---------------	---

甲村スポーツ課長	<p>るものです。毎週開催イベントは「唱歌を聞こう・懐メロを聞こう」です。毎月、絵手紙、琴、塗り絵などの体験講座等を開催しています。</p> <p>15ページの資料館展示事業につきましては、今年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、中止となりました。以上、資料館の前期社会教育・生涯学習活動の説明とさせていただきます。</p> <p>資料16ページを御覧下さい。スポーツ課に関係します生涯学習活動について説明します。</p> <p>1番の「幼児の親子体操教室」から5番の「成人スポーツ教室」までは、市教育委員会が主催しましたスポーツ教室で、延べ1,025人に参加いただきました。</p> <p>ここで訂正をお願いします。7番の主催者がみよし市スポーツ推進委員となっておりますが、みよし市カヌー協会に訂正をお願いします。6番のスポーツ推進委員が主管する「カローリング交流会」、7番の市カヌー協会が主催する「カヌー出前教室」は、コロナウイルス感染症の影響により中止されています。</p> <p>8番の「カヌー教室」は、市カヌー協会が主催する事業で、保田ヶ池カヌーポロ競技場を会場に、小学4年生以上を対象とし実施し、延べ66人に参加いただきました。</p> <p>9番から11番までは市内にあります総合型地域スポーツクラブの活動です。受講者数欄の数値は登録している会員数です。なお、三好ともいきスポーツクラブについては、年会費を徴収しての活動を行っていないため、受講者数の欄には記載をしていません。</p>
岡田教育行政課長	<p>教育行政課からは、「イ 家庭教育推進事業」について説明いたします。</p> <p>家庭教育推進事業では、家庭教育学級と、思春期家庭教育講座を実施しています。資料19ページをお願いします。こちらは、家庭教育学級事業の前期分の実績となります。家庭教育学級は、家庭教育の基盤となる保護者に対し、家庭教育に関する情報を提供するなどし、家庭での教育力の向上を図ることを目的に実施する事業です。小学生の保護者を対象に、講座や講演会、視察など多様な活動を実施しています。</p> <p>令和3年度の4月から9月までの前期分の家庭教育学級につきましては、市内8小学校の内6小学校において、各校1回から3回の開催回数で計画され、全校で12講座となっております。その内実際に開催されたのは、4小学校の5講座で、受講者数は185名でした。なお、講座の内容、講師、開催日時、会場、参加人数等につきましては、資料に掲載させていただいておりますので、御覧ください。</p> <p>コロナ禍の前の令和元年度実績と比較すると半数以下の受講者となりましたが、昨年度はほとんどの学校で中止となったことから比べますと、今年度は各学校で感染リスクを避けながら、知恵を絞って事業を実施していることが伺われます。</p> <p>次に、資料21ページをお願いします。こちらは、思春期家庭教育講座の前期</p>

	<p>分の実績となります。思春期家庭教育講座は、市内全中学校で、子育てへの不安や悩みを持つ親に対して、子育て講座を開催することにより、家庭教育の支援を図るものです。中学生の保護者を対象にした講座等を通じて、思春期の子どもに対する躰や家庭教育のあり方を見直し、家庭の教育力の向上を目指します。</p> <p>令和3年度前期分では、全4中学校中、北中学校のみの開催で、20人の参加者がありました。三好中学校、南中学校、三好丘中学校は、後期での開催予定となっています。</p>
秋松委員長	<p>ありがとうございました。それでは、只今の説明にご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
各委員	<p><b>【質疑なし】</b></p>
秋松委員長	<p>続いて、「(2) 令和3年度後期社会教育・生涯学習活動計画について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
橋本生涯学習推進課長	<p>資料No.3、22ページをお願いします。後期に実施を計画している事業につきまして、できるだけ簡潔に説明をさせていただきます。</p> <p>始めに、読書啓発事業です。資料23ページを御覧ください。</p> <p>後期は、1番から3番までの読書講演会や子ども向けの人形劇などの実施を予定しております。なお、1番の「昔ばなしの世界」は、明日の開催を予定しておりましたが、講師の体調不良のため中止となりました。</p> <p>続いて訂正をお願いします。3番の「図書館に人形劇を見に行こう!」ですが、講師のところが「むずび座」となっていますが、正しくは「むすび座」です。</p> <p>続いて、24ページから36ページまでが、後期に行う悠学カレッジ講座となります。ここには、秋冬、新春に行う講座を掲載しております。すでに、現在、秋冬として実施中の講座を含めると、全部で95講座となります。内訳は、生活創造が42講座、国際理解が27講座、情報・通信が26講座です。なお、24ページの1番と2番につきましては、愛知教育大学との連携による2つの公開講座を開催いたしました。また、27ページの23番につきましては、みよし市文化協会との協働による「短歌初級」講座を企画いたしましたが、緊急事態宣言発出の影響もあり、申込数が少なかつたため中止いたしました。</p> <p>続いて、37ページは文化事業委託事業となります。</p> <p>1番から4番までとなりますが、サンアートの改修工事が本年10月に完了したため、みよし市文化協会への委託事業として、リニューアルしたサンアートを会場に文化祭を開催することができました。2年ぶりの開催であったことと、新型コロナによる行動制限が緩和された時期であったこともあり、運営する文化協会や参加団体、会場に訪れた皆さんの笑顔や明るい表情が、大変印象的でした。</p> <p>また、5番の「公募第26回みよし美術展」につきましても、サンアートリニ</p>

<p>村山資料館長</p>	<p>ユーアル記念と銘打って、2年ぶりに開催いたします。</p> <p>簡単ではありますが、以上が後期に実施、及び実施を予定している生涯学習推進課の活動計画となります。</p> <p>資料の38ページを御覧ください。事業名称は石川家住宅管理事業です。講座等名は「石川家住宅歴史体感講座」についてです。内容は、先ほど説明させていただきました活動報告と同様ですので割愛させていただきます。開催日時は10月1日から3月31日までの土曜日・日曜日で回数は120回の計画です。詳細内容は広報並びにホームページにて掲載しております。</p> <p>資料の39ページを御覧ください。事業名称は資料館展示事業です。講座等名は「みよし市文化財めぐり」についてです。開催日時は11月27日で、すでに開催しております。見学先は、福谷城跡・市場古墳、黒笹27号窯跡、黒笹90号窯跡、石川家住宅です。以上、資料館の後期社会教育・生涯学習活動計画の説明とさせていただきます。</p>
<p>甲村スポーツ課長</p>	<p>資料40ページ、41ページを御覧ください。</p> <p>資料の訂正をお願いします。番号5番、開催日時の欄Bの7月9日から8月13日を10月29日から12月3日と訂正をお願いします。</p> <p>1番から5番のスポーツ教室は、後期教室を9月から開催しており、12月18日まで実施します。6番の「みよしレクリエーションスポーツフェスタ」、7番の「令和4年新春みよし市マラソン駅伝大会」は、新型コロナウイルス感染症の状況から選手、関係者、運営スタッフ、地域の方々の健康と安全を最優先とするため、中止とさせていただきます。</p> <p>カヌー関係につきましてはシーズンオフのため、イベントは予定しておりません。また、総合型地域スポーツクラブの活動は、年間計画により教室・講座が開催されるように聞いております。以上で説明を終わります。</p>
<p>岡田教育行政課長</p>	<p>教育行政課からは、後期分の、「イ 家庭教育推進事業について」と「ウ 文化振興事業について」説明いたします。</p> <p>資料は43ページをお願いします。家庭教育学級事業の後期分の計画となります。こちらにつきましては、前期に開催計画のなかった中部小学校の事業が計画された一方、前期に3講座を計画した北部小学校や三好丘小学校、緑丘小学校の開催計画はございません。天王、三吉、黒笹の各小学校は、前期に続いての開催計画となります。後期分として4校わせて5講座が企画されましたが、現時点では2講座が中止となったため、3講座の開催が計画され、うち黒笹小学校の1講座は既に終了しており30名の参加がございました。</p> <p>次に資料44ページをお願いします。思春期家庭教育講座の後期分につきましては、前期に開催した北中学校を除く、三好中学校、南中学校、三好丘小学校が講座の開催を各1回ずつ企画し、いずれも既に終了しています。3中学校合わせ99名の参加がございました。</p>

	<p>次に、文化振興事業になります。資料46ページをお願いします。文化振興事業としては、文化センターサンアート文化振興事業を実施しています。</p> <p>文化センターサンアート文化振興事業は市民の文化意識の高揚と、市民を主体とした文化の創造を図るため、文化センターサンアートの指定管理者が自主企画する各種文化事業になります。</p> <p>令和3年度の前期はサンアートの大規模改修のため実施されませんでした。後期では7件の事業が、指定管理者であるホームメックスグループにより計画されています。</p> <p>定例の「ロビーコンサート」を毎月の5回開催する他、映画観賞会と落語が予定されています。各講座の内容、講師、開催日時、会場、参加人数等につきましては、資料に掲載のとおりです。なお、お手元に、サンアートのリニューアル記念のリーフレットの他、番号6映画観賞会「漁港の肉子ちゃん」と番号7落語「初笑い寄席」のチラシを配布させていただきましたので、御覧ください。以上、説明とさせていただきます。</p>
秋松委員長	<p>ありがとうございました。それでは、只今の説明にご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
各委員	<p><b>【質疑なし】</b></p>
秋松委員長	<p>続いて、「(3)生涯学習推進基本計画策定の中間報告について」を議題といたします。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
橋本生涯学習推進課長	<p>別にお配りした資料をお願いします。</p> <p>市民アンケートの結果について、資料A-①をご覧ください。市民アンケートにつきましては、資料右側の下段に記載しておりますが、15歳以上の市内在住の2,000人の方を対象として、郵送により実施いたしました。</p> <p>回答していただいた方は、830人で回収率は41.5%でした。</p> <p>調査内容の主なものは、ご自身の「生涯学習の状況」や「生涯学習に対する今後の意向」、「生涯学習の成果」などの項目です。</p> <p>アンケート結果を分析したものを、概要としてまとめておりますので、少し説明させていただきますと、資料左側にあります「生涯学習の状況について」では、この1年間で生涯学習を行ったという人は70.9%と多く、行った生涯学習の分野では「体力づくりに役立つ活動(スポーツ、ダンス、ウォーキングなど)」が42.4%と最も多くなっており、性別でみると「職業上必要な知識・技能」「パソコン・インターネットに関すること」は男性で特に多く、「家庭生活に役立つ技能」は女性で特に多くなっています。</p> <p>生涯学習を行う主な時間帯は、平日の割合が高くなっていますが、10年前の同様の調査では土日の割合が高くなっており、ライフスタイルの多様化などによ</p>



る変化が見て取れます。

また、生涯学習をしなかった人の理由は「仕事や家事が忙しくて時間がない」や「きっかけがつかめない」、「講座や教室などが、自分の希望する内容や実施時期・時間に合わない」などの割合が多くなっています。

続いて、資料の真ん中にあります「生涯学習に対する今後の意向について」では、今後何らかの生涯学習を行ってみたいと考えている人は、86.8%と高く多くの皆さんが学習への意欲を持っていることが分かります。

また、今後生涯学習を行うときの場所や形態については「情報端末やインターネット」が46.7%と最も多く、次いで「生涯学習センターなどの公的な場所における講座や教室」が39.5%と多くなっており、公的な場所で開催される講座や教室で学習したい人が多くいることが分かりました。

さらに、今後利用したい施設についても「図書館交流プラザ(サンライブ)」が52.8%と最も多くなっています。

続いて、資料の右側にあります「生涯学習の成果について」では、生涯学習で身に付けた知識や技能などを自分以外に生かしたいという人は、6割程度となっており、生かしたいと考えている人のうち、身に付けた知識や技能などをどのような場所や機会に生かしたいかについて「趣味・サークル活動」がもっとも多く、また、生かすために必要なことについて「同じ分野に興味のある人との交流」となっています。

なお、資料A-②「調査報告書」には、今、ご説明させていただいた内容を含め、結果分析や自由記述による意見なども、掲載しておりますのでご覧ください。

続いて「(2)市の生涯学習を取り巻く現状の整理について」ですが、資料Bをご覧ください。平成13年度に「第1次生涯学習推進基本計画」を策定してから、この20年間で社会情勢が大きく変化しており、主なものについて、資料左側に五つの■で示しております。

一つ目として、ライフスタイルや価値観が多様化し、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を送るため、今後は、市民それぞれのニーズに応えた多様な学習機会を提供していく必要があります。また、新型コロナウイルスによる「新しい生活様式」の普及が見込まれることから、そうした変化に対応した新たな学びのあり方や環境づくりを検討していくことが必要です。

二つ目として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、17のゴールのうち、国際目標4では、「すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」とあり、今後はこれを達成するため、生涯学習に関する活動を広げていくことが必要です。

三つ目として、出生率の低下や平均寿命の延伸などにより、少子高齢化が急速に進展しており、市においても65歳以上の人口割合が増加しています。今後、日本では、さらなる健康長寿社会を迎えることが想定されます。このような人生100年時代において、長い人生をより充実させるため、子どもから高齢者までライフステージごとに、生涯にわたる多様な学習の機会が重要となります。

四つ目として、IoTなど、新しい概念が登場し、今後の社会生活に大きな変

化をもたらすことが予測されます。このような新しい技術を活用することで、学び方は多様化し、地理的制約や時間的制約が少なくなることが期待できます。

五つ目として、国籍にかかわらず誰でも学べる機会を提供することは、本人の生活の豊かさや充実につながるだけでなく、その学びを地域活動などへ生かしていくことが期待されます。また、国際交流などをおして、相互に学び合う機会の創出も重要です。

さらに、国や県などの動きについて、四つの●で示しております。

一つ目の●として、第3期みよし市教育振興基本計画では、長寿化が進む中で人生100年時代を見据えた生涯学習の推進などが位置づけられています。

二つ目の●として、平成30年12月、文部科学省の中央教育審議会において、今後の社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」という理念が示されました。

三つ目の●として、平成31年3月には、「障がい者の生涯学習の推進方策について―誰もが、障がいの有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―」が文部科学省の有識者会議によりまとめられ、共生社会の実現をうたっています。

四つ目の●として、平成30年度に策定された、第2次愛知県生涯学習推進計画においても、基本理念として「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」が掲げられております。

このように、先にご説明しました「市民アンケートの結果」や「市の生涯学習を取り巻く現状」のほか、これまでの取り組み状況などを踏まえ、「課題」として、資料の下段にまとめましたので御覧ください。

課題の1番として、気軽に生涯学習をはじめられる、身近に学習に取り組めるきっかけづくりや働きかけが必要です。

課題の2番として、ライフスタイルや市民のニーズに応じた多様な学習機会、学習内容の充実を図ることが必要となります。

課題の3番として、自身の学びを地域や他者に生かすための取組の展開や市民の生涯学習活動をより充実させるための人材の発掘や育成が必要となります。

課題の4番として、気軽にいつでも、誰でも学習活動を行えるよう学習環境の整備や既存施設の積極的な活用が必要となります。

続いて「(3) 生涯学習推進基本計画策定の進捗状況について」ですが、資料Cの右側をご覧ください。

先ほど「課題」として挙げた1番から4番までについて、それぞれを基本目標と定め、体系図を作成することにより個別の施策項目を設定し、課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。

その具体的な施策の内容につきましては、基本目標の①として、「学びをはじめするための支援」では、講座・文化芸術・スポーツサークル活動等の情報を集約して活用したり、見学や体験会を開催したりするなど、学びのきっかけづくりに努めます。また、地区拠点施設などで生涯学習講座を開催するなど、いつでも・誰でも学習できる場を提供していきます。

基本目標の②として「学びを深め、交流する機会の充実」では、サンライブと各公共施設との連携を図り、ライフステージに応じた学習機会の提供に努めます。また、生涯学習関連施設の情報提供に努め、活動場所を周知していきます。

基本目標の③として「学びを生かす場や機会の充実」では、地域や学校などへの講師の紹介や文化協会、地域スポーツクラブなどと連携することにより、指導者・リーダーの育成と活用に努めます。また、ボランティアの育成と、その活動場所について検討していきます。

基本目標④「学びの土台の整備」では、インターネットの活用や生涯学習相談窓口の充実を図ることにより、積極的な情報提供と相談体制の充実に努めます。また、生涯学習推進課を主体とした各種団体との連携強化を図り、総合的な推進体制の整備に努めます。

このほかにも、課題への取り組みを、継続的に続けてまいります。第1回の社会教育委員会において、委員の皆さまからいただいた意見にもありましたが、生涯学習推進課が主体となり、市役所内だけでなく各種団体との連携を密にして、市民の生涯学習に対する関心を深めたり、活動の幅を広げたりできる内容を計画の中に盛り込んでいきます。

また、前回の第2次計画における最大の成果でもある、平成28年7月に開館した図書館学習交流プラザ「サンライブ」が、生涯学習における活動や情報の拠点となるよう有効活用していきたいと考えております。

その他、前回の社会教育委員会でいただいた、新型コロナの対策に関する御意見についてですが、最近の日本における感染状況としましては、皆さんの感染防止対策やワクチンの開発などの効果により、新規感染者数は減少傾向にあり、徐々に制限が緩和され、社会活動や経済活動が活発になってきているところですが、本市においてもこの秋には、昨年度は中止となった文化祭や市民合唱交流会などのイベントが開催されております。その中で、参加した人や観覧に訪れた皆さんが口々に話されていたことは、マスク越しではありますが、「人と会って」「人と話して」「人に見てもらえる」ことへの喜びでした。やはり、生涯学習を推進するためには、人と人との交流が不可欠なものであると、再認識された方が多かったものと思います。このことから、資料Cの右上の4番で示しておりますように、基本理念として「学びあい ふれあい 支えあい 人と人がつながる 生涯学習」を掲げ、人と人のつながりが生み出せるような、生涯学習施策を推進していきたいと考えております。

一方で、現在のように人が集まることができない事態が再度、起こった場合でも生涯学習が停滞しないよう、現在、市が進めている「みよし市デジタル化推進構想」に沿って、デジタル技術を活用した事業にも、取り組んでいきたいと考えております。以上、報告事項の説明とさせていただきます。

続いて、2 その他 「(1) パブリックコメントの実施について」ですが、今回の皆さまのご意見なども参考にさせていただいた上で、まとめました案を公表し、市民の皆さんからの意見を募集するものであります。

実施期間は、令和4年2月1日から令和4年3月2日まで、閲覧場所は、みよ

秋松委員長	<p>し情報プラザ、サンネット及び市ホームページ、意見については、郵送・ファクシミリ・電子メール・直接持参の四つの方法で提出していただきます。なお、広報みよし2月号でお知らせ記事を掲載いたします。</p> <p>続いて、「(2) 意見の聴取について」ですが、この後、委員の皆さまからご意見やご質問をいただく時間もあると思いますが、電子メールやファクシミリなどでも、ご意見をお聞きできるように連絡先を黒枠内に記載しております。</p> <p>後日でも結構ですので、ご意見をお寄せください。長くなりましたが、以上で説明を終了させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。それでは、只今の説明にご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
中山委員	<p>3点ほどお伺いします。愛知教育大学の中山です。</p> <p>まず一つ目ですが、主な施策ということで継続として就業者向けの夜間、休日講座というものがありますが、新規として地区拠点施設や公民館等での講座開催があげられていますが、これは以前から取り組んでいたものもあり、新しく取り組んでいくものもあるのですが、生涯学習の拡大という点では大事なことでやっていただきたいところです。例えば夜間休日とか公民館での講座開催についてどこまでやられる予定でしょうか。令和3年度の前期及び後期の講座の開催状況を拝見すると、ほとんどが午前中の開催なので、夜間休日講座をもう少し増やす必要があるのではないかと思います。</p> <p>続いて二つ目として、読書啓発の推進というところでは図書館が非常に利用しやすいということが重要なところですが、例えば他の市町の事例ですと公民館などで図書の貸し出しをしています。そのようなことをお考えですか。</p> <p>次に三つ目ですが、学びを生かす場や機会の充実ということで、指導者、リーダーの育成と活用で人材バンクの活用とか地域や学校への講師紹介、文化協会やスポーツクラブとの連携というのがあるのですが、アンケート結果のところを拝見すると学んだところを生かしたいという内容は趣味とかサークル活動に生かしたいということなので、このあたりと新規の新たな取り組みとどのように整合性を持たれるのかお伺いします。</p>
橋本生涯学習推進課長	<p>一つ目ですが、就業者向けの夜間休日講座とか地区拠点施設や公民館の活用ということだと思いますが、生涯学習推進課としてはサンライブで開催するものを主としていますが、こちらへ足を運べない方が機会を失ってしまうということではいけませんので、おかよし地区では2年前におかよし交流センターができ、みなよし地区におきましてもこうした交流センターができますので、こうした施設を利用した講座を開催していきたいと考えています。回数等は現時点では未定ですが、地域の実情や利用者のニーズに合わせて段階的に増やしていきたいと考えています。来年度につきましては少なくとも1回は開催し増やしていきたいと考えています。続いて就業者向けの夜間休日講座につきましては、過去に休日にバ</p>

	<p>スツアーなどを開催し、かなり盛況だったとお聞きしていますが、市が主催するには制約があり、トラブル等もあったことから、現在は開催していません。また、夜間講座につきましてもコロナの関係で午後7時で終わったり午前中に開催したりという事情もあったわけですが、コロナの影響がなかった令和元年度では開催しておりましたので、状況を見て今後、開催したいと考えています。今後は夜間や休日しか参加できない方にも参加できるよう講座を増やしてまいります。</p> <p>続いて二点目ですが、みよし市につきましては、小さな市ということもあり、サンライブの他に三好丘にあるサンネットに図書コーナーを設置し、現在も図書を貸し出ししていますが、みなよし地区にも施設ができますので検討してまいります。公民館につきましては管理や司書の手配もありますので、現状では2か所の運用となっています。</p> <p>三点目ですが、指導者・リーダーの育成と活用について前計画でもボランティアや市民バンク等を活用してそういった方が気軽に講座や教室が開けるような環境を整備していくとなっていますがなかなかうまくいっていないので、例えば防災安全課で実施しているボランティアリーダーとか図書館でやっている読み聞かせの会の活動の場を設けることを生涯学習推進課が支援していきたいため掲載させていただいています。</p>
秋松委員長	<p>中山委員から貴重な御質問、御意見を頂戴しました。また今後ともいろいろな面でアドバイスをいただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
中山委員	<p>図書館に関して、私もかつてみよし市民で三好丘旭に住んでいたことがあります。みよしは、面積は小さいかもしれませんが南北に長く、高低差が激しい所です。多くの元気な人は自動車で移動できますが、子どもや高齢者の方はかなり厳しいかなと思いますので、もう少し借りる所が増えると良いと思っています。そうした背景で質問させていただきました。</p>
橋本生涯学習推進課長	<p>多くの方が利用いただけるよう、デジタル化と合わせて11月2日から電子図書館を始めています。高齢者を中心にタブレットとかスマートホンなどが不慣れな方にも支援できるような生涯学習講座などを開催したいと考えています。</p>
秋松委員長	<p>他にありませんか。</p>
大地委員	<p>アンケート調査を実施するにあたって、生涯学習についてどう定義されて実施されましたか。生涯学習という人によっていろんな受け方があります。</p> <p>またアンケート調査の38ページのグラフの一番上から「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実」、「生涯学習を始める人へのきっかけづくりの充実」、「受講しやすい多様なジャンルの学習講座」のところが多いなと感じました。今後生涯学習を進めるうえで、これからどのように進められますか。先ほど悠学カレッジのところで報告がありましたが、生活創造講座、国際理解講座、情報・</p>

橋本生涯学習推進課長	<p>通信講座と三つに分かれているということで、どうして三つなのかということも疑問なので意見として出させていただきます。</p> <p>最初の質問ですが、生涯学習とは一般的に人々が生涯に行う学習、すなわち学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、リクレーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味と定義をさせていただいてアンケートを実施させていただきました。</p> <p>続いて2番目の38ページにもございました結果から、なぜ三つの講座ということですが、まず生活創造講座は趣味的なものが多く、例えば料理とかヨガとか体づくり、文化などについて学ぶということを主体に実施しています。また、国際理解講座については国際化というところがスタートで主に5月に最近ではスペイン語とかフランス語とか講師をお招きして多くの方に受講いただいています。会話だけでなく文章を作る、映画を見ながらこれについての考えを学ぶとかいろんな趣向で国際化に向けた講座の内容となっています。情報・通信講座につきましては、以前はパソコンとかインターネットとか一般的ではなかったのがパソコンやインターネットに慣れていただくことが主体でしたが、最近ではスマートフォンやラインなど受講者のニーズに応える内容のものをテーマとして開催しています。中でもコロナの影響で、外出できないとか人に会えないということから通信関係について高齢者も多くの方が受講されています。その他生涯学習についても多岐にわたりますので、専門的な要素はスポーツ課、福祉課、長寿介護課で実施していますので、生涯学習推進課としては、一般教養や趣味、学ぶといったことを主に開催しています。</p>
秋松委員長	他にありませんか。
野口委員	<p>アンケート調査の8ページに性別を問うところがありますが、私は社会教育委員の代表として男女共同参画の審議会へ出させていただきます。男女の回答で無回答の方があるということはもう少し違うことを伝えたかったのではないかと。ここは無回答とならないような配慮が必要ではと思います。</p>
橋本生涯学習推進課長	ジェンダーレスといった観点も一般的で、市のアンケートも男性、女性、その他というように分けられています。今回のアンケートも性別のところは任意となっておりますが、SDGsの概念にもございますので、今後検討してまいります。
秋松委員長	他にありませんか。
各委員	【質疑なし】
秋松委員長	他にはないようですので、次第3番報告事項に入ります。

<p>溝口主査</p>	<p>「(1) 東海北陸社会教育研究大会の参加報告について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>東海北陸社会教育研究大会につきましては、ご案内のとおり各委員の皆様に出席をお願いし、5名の方の参加で準備を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催となり、委員会としては不参加とさせていただきます。</p> <p>来年度は愛知県東海市で開催される予定であり、改めてご案内申し上げますのでご参加よろしくお願いたします。</p>
<p>秋松委員長</p>	<p>来年度は愛知県で開催です。実は令和2年度も愛知県で開催が決まっていたが、コロナの影響で延期となりました。従って来年も愛知県で受けることになりました。よろしくお願いたします。次に移ります。</p>
<p>秋松委員長</p>	<p>次第の4 その他について事務局から連絡事項等ありますか。</p>
<p>溝口主査</p>	<p>次回第3回社会教育委員会は、令和4年2月下旬ごろに開催する予定です。日時が決まりましたら改めてご案内申し上げますので、ご出席よろしくお願いたします。</p>
<p>秋松委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の議題は以上で終了しました。ご協力ありがとうございました。事務局へお返しします。</p>
<p>溝口主査</p>	<p>これを持ちまして、第2回社会教育委員会を終了します。</p> <p>皆様、ご起立をお願いします。</p> <p>「一同礼」。ありがとうございました。</p>